

今年も4月の気温が平年より高くなる見込みです！

天候に合わせたきめ細やかな管理で「健苗育成」に努めましょう！

- 近年、育苗期間の高温の影響で、葉齢が予定よりも進み老化してしまうという状況が、広く見られています。今年も4月の気温は高く推移する見込みですので、播種や育苗の計画を再確認し、健苗を適期に田植えできるような管理しましょう。
- 令和6年産種子は、登熟期の高温の影響で休眠が深く、例年よりも催芽に時間がかかると見込まれます。種もみの9割がハト胸状態になっていることを確認してから播種作業に入りましょう。

◎播種作業

- 移植日から逆算し計画的に播種を行いましょう。移植適期は**5月15～20日**です。
- 田植えの遅れは初期生育の遅れの要因に、老化苗は活着不良の要因になります。

☆作業時期の目安【田植えを5月20日にする場合】

移植日から逆算して計画的に！

苗の種類	乾籾重 (g/箱)	浸種開始日	催芽日	播種日	育苗期間	葉数 (5月20日)
稚苗	150～180g	4月12日	4月24日	4月25日	20～25日	2.5枚
中苗	80～120g	4月2日	4月14日	4月15日	30～35日	3.5枚

◎育苗期間の温度・水管理

- ハウス内および苗床（被覆資材下）の両方に温度計を設置し、温度確認をこまめに行いましょう。

苗床も
温度を確認！



【低温対策】

- ・保温性の高い資材で温度を確保しましょう。ただし無加温出芽で低温が続く場合、遮光性の高い資材は苗床の地温上昇を抑制し、出芽に時間を要する場合がありますので注意が必要。

【高温対策】 ～ハウス内の気温が40℃を超えるとわずか30分でヤケることがあります～

- ・晴天時は高温障害が発生しやすいので特に注意が必要です。温度が上がる前に早めにハウスを換気する、遮光資材を使う等の対策を取りましょう。
- ・保温マットを使用した場合、晴れた日は苗床の温度が急激に上昇することがあるため、早めに換気、保温マットを除去する等の対策が必要です。

【育苗期間の温度管理】

	昼間	夜間	注意点
出芽時	30～32℃		○無加温出芽は出芽を揃えることがカギ。きめ細やかな管理を行う。
緑化期 (出芽後2～3日)	25℃	15℃	○外気温が25℃以上の日は苗ヤケに要注意！早めにハウスを換気する。
緑化期以降	20～25℃	8℃以上	○低温時には保温に努める。 ○霜が予想される場合は早めにハウスを閉める。

- かん水は午前中に1回が基本です。夕方からのかん水は根張り不良となるため避けましょう。
- プール育苗では、1.5 葉期頃から入水します（上限は床土の高さまで）。**プール育苗の場合は苗が伸びやすいので、夜間5℃以上の場合は、昼夜ともハウスを開放**し、ハウス内気温を低めに管理します。ただし、**低温・降霜が予想される場合はハウスを閉めるなど保温的管理**を行います。2 葉期以降は、育苗箱の上1 c m程度の水深で常時湛水とします。

◎ 育苗期間中の病害対策

- 出芽を揃え、温度管理やかん水を適切に行い、病害を発生させない環境づくりが大切です。カビの発生や苗の生育異常がみられた場合は、早めにご相談ください。

【育苗期間中に発生する病害と対策】

病原菌	主な症状	発生条件	発生抑制のポイント
リゾプス	覆土を覆う白いカビ	 出芽時の高温過湿	○33℃以上の高温、過湿にしない
フザリウム	根のまわりに白色～淡紅色のカビ	 出芽～緑化期の低温、湿度の変動が大きい	○低温をさけ、適切な温度を保つ ○過湿にしない
ピシウム	カビは見えない、ムレ苗 2 葉期頃に葉の萎凋症状	 水分不足、育苗土の低 pH	○33℃以上の高温にしない
トリコデルマ	床土や籾の周辺に白色～青緑色のカビ	 高温過湿、育苗土の高 pH	○高温過湿にしない ○発生した場合は苗を速やかに処分
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	第2 葉葉身基部の黄白化、枯死、坪枯れ		

◎ 本田への土づくり肥料の積極投入

- 異常気象に負けず、安定的に米の品質・収量を確保するために、「土づくり」は必須です。特に、**ケイ酸資材は①根の活力維持、②登熟能力の向上、③いもち病抵抗性向上**の効果が期待できます。土壌 pH の改善にも有効です。積極的に施用しましょう。

【施用の目安】ケイカル 120 kg/10a

- 土壌からの養分の供給力増加や、登熟不良・玄米品質の低下軽減のため、**作土深 15cm** を目標に耕起を行いましょう。

◎ 品種に応じた基肥量の目安

- 基肥は下表を目安にし、良食味米の生産に努めましょう。
- 堆肥を施用する場合は、家畜の種類や原料により成分が異なるので、堆肥の特徴を把握し、散布量を決定します。また、**堆肥を施用した場合は、基肥を減肥しましょう。**

表 品種別の基肥量（窒素量）の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素成分量 (kg/10a)	5～6	3～4	4～5	3～4	4～5	5～6